

養護教諭

解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1**～大問 **4** については、マーク式解答用紙に、大問 **5** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **1**～大問 **4** の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

1 学校保健安全法、学校保健安全法施行規則について、次の（１）～（５）の問いに答えよ。

（１）学校保健安全法（平成28年４月施行）の条文について、空欄A～Dに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。１～５から一つ選べ。解答番号は

第八条 学校においては、児童生徒等の に関し、健康相談を行うものとする。

第九条 は、相互に連携して、健康相談又は児童生徒等の健康状態の日常的な観察により、児童生徒等の心身の状況を把握し、健康上の問題があると認めるときは、、当該児童生徒等に対して必要な指導を行うとともに、必要に応じ、その保護者（学校教育法第十六条に規定する保護者をいう。第二十四条及び第三十条において同じ。）に対して必要な助言を行うものとする。

第十条 学校においては、救急処置、健康相談又は を行うに当たっては、必要に応じ、当該学校の所在する地域の医療機関その他の関係機関との連携を図るよう努めるものとする。

	A	B	C	D
1	心身の健康	養護教諭その他の職員	遅滞なく	保健指導
2	健康診断の結果	学校医	六月三十日までに	健康診断
3	身体の新健康	養護教諭その他の職員	二十一日以内に	健康診断
4	心身の健康	学校医	六月三十日までに	健康観察
5	健康診断の結果	養護教諭	遅滞なく	保健指導

(2) 学校保健安全法（平成28年4月施行）の条文について、空欄A～Dに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

第十九条 は、感染症にかかっており、かかっている疑いがあり、又はかかるおそれのある児童生徒等があるときは、 で定めるところにより、出席を停止させることができる。

第二十条 は、感染症の予防上必要があるときは、臨時に、学校の の休業を行うことができる。

	A	B	C	D
1	校長	省令	学校医	全部
2	学校	政令	学校医	全部又は一部
3	校長	政令	学校の設置者	全部又は一部
4	学校	省令	学校医	全部
5	校長	省令	学校の設置者	全部又は一部

(3) 学校保健安全法施行規則（平成28年4月施行）の条文について、空欄A～Dに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

第十一条 法第十三条の健康診断を的確かつ円滑に実施するため、当該健康診断を行うに当たっては、小学校、中学校、高等学校及び においては において、幼稚園及び においては に、あらかじめ児童生徒等の発育、健康状態等に関する調査を行うものとする。

	A	B	C	D
1	高等専門学校	第一学年	大学	必要と認めるとき
2	大学	第一学年	高等専門学校	入園・入学時
3	高等専門学校	第一学年	大学	入園・入学時
4	大学	全学年	高等専門学校	必要と認めるとき
5	高等専門学校	全学年	大学	必要と認めるとき

(4) 学校保健安全法施行規則（平成28年4月施行）の条文について、空欄A～Cに当てはまる語句を、それぞれ1～5から一つ選べ。

空欄Aの解答番号は 、空欄Bの解答番号は 、
空欄Cの解答番号は

第十八条 学校において予防すべき感染症の種類は、次のとおりとする。

- 一 第一種 エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。）、中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。）及び特定鳥インフルエンザ（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成十年法律第百十四号）第六条第三項第六号に規定する特定鳥インフルエンザをいう。次号及び第十九条第二号イにおいて同じ。）
 - 二 第二種 インフルエンザ（特定鳥インフルエンザを除く。）、百日咳、麻しん、流行性耳下腺炎、風しん、水痘、、結核及び髄膜炎菌性髄膜炎
 - 三 第三種 コレラ、細菌性赤痢、、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎その他の感染症
- 2 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第六条第七項から第九項までに規定する新型インフルエンザ等感染症、指定感染症及び新感染症は、前項の規定にかかわらず、第一種の感染症とみなす。

	A	B	C
1	ヘルパンギーナ	溶連菌感染症	感染症胃腸炎
2	マイコプラズマ感染症	咽頭結膜熱	E Bウイルス感染症
3	肺炎球菌感染症	伝染性紅斑	A型肝炎
4	急性灰白髄炎	帯状疱疹	腸管出血性大腸菌感染症
5	カンピロバクター感染症	手足口病	伝染性膿痂疹

(5) 学校保健安全法施行規則（平成28年4月施行）の条文について、空欄A～Cに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

第二十条 令第七条の規定による報告は、次の事項を記載した書面をもつてするものとする。

- 一 学校の名称
- 二 出席を停止させた
- 三 出席停止を指示した
- 四 出席を停止させた児童生徒等の
- 五 その他参考となる事項

	A	B	C
1	理由	医師名	人員数
2	理由及び期間	年月日	学年別人員数
3	期間	年月日	学級別人員数
4	理由及び期間	校長名	人員数
5	期間	医師名	学年別人員数

2 児童生徒等の健康診断について、次の(1)～(2)の問いに答えよ。

(1) 児童生徒等の健康診断に関する内容について、次のア～カの問いに答えよ。

ア 文部科学省スポーツ・青少年局長「学校保健安全法施行規則の一部改正等について(通知)」(平成26年4月30日)において示された「IV その他健康診断の実施に係る留意事項」について、空欄A～Eに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

○ 児童生徒等の健康診断の目的・役割について

児童生徒等の健康診断には、を踏まえ、学校生活を送るに当たり支障があるかどうかについて、疾病をし、児童生徒等の健康状態を把握するという役割と、学校における健康課題を明らかにすることで、の充実に役立てるという役割があることに留意すること。

○ 事後措置について

健康診断の結果、に疾病又は異常が認められず、健康と認められる児童生徒等についても、事後措置として健康診断の結果を通知し、当該児童生徒等のに役立てる必要があること。

	A	B	C	D	E
1	家庭における健康調査	確定	健康教育	身体	発育・発達
2	学校における健康相談	スクリーニング	学習環境	心身	発育・発達
3	学校における健康観察	確定	学習環境	心身	健康の保持増進
4	学校における保健指導	スクリーニング	学習環境	身体	健康の保持増進
5	家庭における健康観察	スクリーニング	健康教育	心身	健康の保持増進

イ 学校保健安全法施行規則（平成28年4月施行）第六条に掲げられている児童生徒等の健康診断における検査項目のうち、中学校及び高等学校の第二学年において、除くことのできる項目はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 歯及び口腔の疾病及び異常の有無
- 2 栄養状態
- 3 尿
- 4 視力
- 5 聴力

ウ 下の表は、公益財団法人日本学校保健会冊子「児童生徒等の健康診断マニュアル（平成27年度改訂）」に示されている肥満度に基づく判定の一部である。（い）にあてはまる判定はどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

判定	(あ)	(い)	(う)	(え)	(お)	(か)
肥満度	- 30% 以下	- 30% 超 - 20% 以下	- 20% 超～ + 20% 以下	20% 以上 30% 未満	30% 以上 50% 未満	50% 以上

- 1 軽度肥満
- 2 やせ
- 3 肥満傾向
- 4 中等度肥満
- 5 やせ傾向

エ 結核の有無は、問診、胸部エックス線検査、喀痰検査、聴診、打診その他必要な検査によって検査をするものであるが、小学校・中学校の問診によっては、次の6つの情報を把握することが、公益財団法人日本学校保健会冊子「児童生徒等の健康診断マニュアル（平成27年度改訂）」に示されている。次のA～Cに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

【問診によって把握する情報】

- ・ 本人の結核罹患歴
- ・
- ・ 家族の結核罹患歴
- ・ での居住歴
- ・ 自覚症状、健康状態（特に、以上の長引く咳や痰）
- ・ BCG接種の有無

	A	B	C
1	接触者健診受診歴	中まん延国	1か月
2	接触者健診受診歴	海外	2週間
3	予防内服歴	高まん延国	2週間
4	予防内服歴	海外	21日
5	接触者健診受診歴	高まん延国	1か月

オ 公益財団法人日本学校保健会冊子「児童生徒等の健康診断マニュアル（平成27年度改訂）」に示されている健康診断で行う検査の方法として、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- A 視力検査は、はじめに0.3の指標から開始するのを原則とする。上下左右のうち4方向を任意に見させ、指標の提示時間は3～5秒間とする。
- B 眼の疾病及び異常の有無の検査の際は、ペンライトを上下左右4方向に動かしながら眼球運動を見る。
- C 選別聴力検査は、必ず右耳から始める。
- D 身長測定の際は、尺柱には両かかと、後頭部、背の一部が触れた状態にする。
- E 尿の検査の際は、正しい採尿は、就寝前に排尿させ、翌朝一番尿の出始めの尿をとる。

	A	B	C	D	E
1	×	×	○	○	×
2	○	○	○	×	○
3	○	×	×	×	×
4	○	○	×	×	×
5	×	×	○	○	○

カ 歯及び口腔の疾病及び異常の有無の検査において、公益財団法人日本学校保健会冊子「児童生徒等の健康診断マニュアル（平成27年度改訂）」に示されている健康診断票の記入の際に用いる記号の説明として、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

- A 「Z S」は、歯石の沈着が認められるが歯肉に炎症が認められない者を表す。
- B 「△」は、むし歯が原因で喪失した永久歯及び乳歯を表す。
- C 「○」は、現在歯を表す。
- D 「☺」は、シーラント処置歯を表す。処置歯として扱う。
- E 「G」は、歯周疾患罹患者を表す。

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	×	○
2	○	○	×	○	×
3	×	×	○	○	×
4	○	×	×	×	○
5	×	×	×	○	×

(2) 公益財団法人日本学校保健会冊子「児童生徒等の健康診断マニュアル（平成27年度改訂）」に記載されている「健康診断時に注意すべき疾病及び異常」の内容について、次のア～エの問いに答えよ。

ア 整形外科関連及び産婦人科関連について述べた各文のうち、空欄A～Dに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 脊柱側弯症は脊柱が何らかの原因により側方、かつ捻れを伴い湾曲した病態である。その中には捻れを伴わず、姿勢性、疼痛性、ヒステリー性、脚長差によるものなどの 側弯症も含まれており、捻れを伴う 側弯症とは明確に区別されている。前者は前屈時に背部の高さに差がなく、軽度で仰向けになると側弯が消失するものが多く、成長により悪化することは多くない。
- 思春期早発症には、 といって正常な思春期が異常に早期に発来する場合と、腫瘍などから性ホルモンが異常に分泌される場合とがある。多くは、 であり、 によくみられる。

	A	B	C	D
1	後天性	先天性	器質性	女子
2	機能性	構築性	特発性中枢性	女子
3	先天性	構築性	持続性	男子
4	機能性	後天性	器質性	女子
5	後天性	構築性	特発性中枢性	男子

イ 眼科関連及び耳鼻咽喉科関連について述べた各文のうち、空欄A～Dに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 無調節状態で、網膜の前で焦点を結ぶ眼を という。眼軸が長いか、眼の光学系の屈折力が ことによる。
- アレルギー性鼻炎の自然治癒率は 、滲出性中耳炎、慢性副鼻腔炎を合併することも多い。くしゃみ、、鼻閉が3主徴で、日常生活では集中力の低下や学習効率の低下などの障害をもたらすことがある。

	A	B	C	D
1	遠視	強い	低率で早く	膿性鼻汁
2	近視	弱い	高率で早く	水様性鼻漏
3	乱視	弱い	低率で遅く	水様性鼻漏
4	遠視	弱い	高率で遅く	膿性鼻汁
5	近視	強い	低率で遅く	水様性鼻漏

ウ 精神科関連及び皮膚科関連について述べた各文のうち、空欄A～Dに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 自閉症スペクトラム障害（ASD）は、社会的コミュニケーションの障害及び という二つの症状で定義される。注意欠陥/多動性障害（ADHD）は、不注意、多動性、衝動性という三つの症状で定義される。 は、読字や書字や算数の学習に特異的な困難があることで定義される。
- アタマジラミは毛髪に卵や成虫を見つけることで診断する。出席停止の 、感染している児童生徒を早期に 治療を始めることが大切である。

	A	B	C	D
1	限局された反復的行動	学習障害（LD）	必要はなく	一斉に
2	限局された反復的行動	広汎性発達障害（PDD）	必要はなく	個別に
3	パニック障害	広汎性発達障害（PDD）	必要があり	個別に
4	パニック障害	学習障害（LD）	必要はなく	個別に
5	パニック障害	広汎性発達障害（PDD）	必要があり	一斉に

エ 内科関連について述べた各文のうち、空欄A～Cに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。
1～5から選べ。解答番号は

- 川崎病は、主として、4歳以下の乳幼児に起こる原因不明の疾患で、発熱、発疹、結膜の充血、口唇及び口の粘膜の発赤、の腫脹等を認める。
- 「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」は、「病型・治療」、「」「緊急連絡先」等の記載欄より構成される。
- 心疾患・腎疾患の児童生徒を対象とした「学校生活管理指導表」の指導区分「B」の内容は、「」である。

	A	B	C
1	リンパ節	学校生活上の留意点	登校はできるが運動は不可
2	関節	運動強度の段階	登校はできるが運動は不可
3	関節	運動強度の段階	同年齢の平均的児童生徒にとっての軽い運動にのみ参加可
4	関節	学校生活上の留意点	登校はできるが運動は不可
5	リンパ節	学校生活上の留意点	同年齢の平均的児童生徒にとっての軽い運動にのみ参加可

3 健康相談及び保健教育に関する内容について、次の(1)～(4)の問いに答えよ。

(1) 国立感染症研究所感染症疫学センター冊子「学校における麻しん対策ガイドライン 第二版」(平成30年2月)に記載されている内容について、次のア～ウの問いに答えよ。

ア 学校において麻しん患者が発生した場合に、発症した児童生徒・職員等と同じ空間にいたなど感染の可能性がある児童生徒等及び保護者に対して行う情報提供の内容について述べた各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- A 登校前の検温の結果、37.0℃以上の発熱を認めた場合は、麻しん発症の可能性があるため、理由を報告の上学校を欠席し、速やかに受診する必要があること。
- B マスクの着用及び手洗いのみでは、麻しんに対する感染予防効果が期待できないこと。
- C 受診の結果、麻しんまたはその疑いがあるとされた場合、速やかにその事実を学校等に連絡すること。
- D 患者と接触した者が、麻しんの罹患歴や予防接種歴がない場合、患者との接触後48時間以内であれば、麻しん含有ワクチンの緊急接種を行うことで麻しん発症を予防できる可能性があること。

	A	B	C	D
1	×	○	○	×
2	○	×	○	○
3	○	×	×	○
4	×	×	○	×
5	×	○	×	○

イ 麻疹予防のための日本国内の定期予防接種制度（平成29年6月現在）等について述べた各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- A 第1期の接種対象者は、生後12月から生後36月に至るまでの間にある者。
- B 第2期の接種対象者は、小学校就学の始期に達する日の2年前の日から当該始期に達する日の前日までの間にある4歳以上7歳未満の者。
- C 定期の予防接種の対象者に該当する者が16歳未満の場合、その保護者には予防接種を受けさせるよう努める義務が課せられている。
- D 予防接種には、予防接種法という法律に基づいて受ける定期接種と、法律に基づかない臨時接種がある。

	A	B	C	D
1	×	○	×	×
2	×	×	○	○
3	○	○	×	×
4	○	×	×	○
5	×	×	○	×

ウ 麻疹に関する基礎知識について述べた各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

A 麻疹は一般に「はしか」とよばれており、「はしか」の症状が3日程度でおさまった場合を「三日ばしか」とよぶ。

B 麻疹の感染力は強く、インフルエンザよりも強いといわれている。

C 麻疹の典型的な症状として、潜伏期の後、発熱、せき、のどの痛み、鼻水、めやに、目が赤くなる、体がだるいといった症状が出はじめ、症状は4～5日間続く。この時期をカタル期とよび、感染力が最も強い時期と考えられている。

D 1回の予防接種により75%程度の確率で免疫を獲得するといわれている。

	A	B	C	D
1	×	×	×	○
2	×	×	○	○
3	○	○	×	×
4	○	×	○	○
5	×	○	○	×

(2) 国立感染症研究所感染症疫学センター「日本の定期予防接種スケジュール」(平成30年4月1日現在)及び文部科学省冊子「学校において予防すべき感染症の解説」(平成25年3月発行)に記載されている内容について、空欄A～Dに当てはまる語句を、それぞれ1～5から一つ選べ。

空欄Aの解答番号は 、空欄Bの解答番号は 、
空欄Cの解答番号は 、空欄Dの解答番号は

- 水痘はワクチンによる予防が可能であり、水痘の予防接種は、10月から定期接種として導入された。
- 流行性耳下腺炎は、耳下腺などの唾液腺が急に腫れてくることを特徴とする疾患である。また、約500～1,000人に1人がを併発するといわれている注意すべき疾患である。
- 咽頭結膜熱及び流行性角結膜炎の原因となる病原体はウイルスである。
- 麻しんワクチンの副反応としての急性脳炎の発症は回接種に1人以下と自然感染時に比べ低い。

	A	B	C	D
1	2011年	不可逆的な難聴	ムンプス	1,000
2	2012年	四肢の麻痺	アデノ	1万
3	2013年	無菌性髄膜炎	ロタ	10万
4	2014年	急性脳炎	コクサッキーA群	100万
5	2015年	重度の肝障害	R S	500万

(3) 小学校学習指導要領（平成29年3月告示）「体育科」及び中学校学習指導要領（平成29年3月告示）「保健体育科」について述べた各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- A 小学校学習指導要領の「体育科」保健領域において、後天性免疫不全症候群（エイズ）及び性感染症に関する内容は特筆されていない。
- B 中学校学習指導要領の「保健体育科」保健分野において、第2学年で扱う「健康な生活と疾病の予防」の中で、「後天性免疫不全症候群（エイズ）及び性感染症についても取り扱うものとする。」と示されている。
- C 小学校学習指導要領の「体育科」保健領域において、「体は、思春期になると次第に大人の体に近づき、体つきが変わったり、初経、精通などが起こったりすること。また、異性への関心が芽生えること。」は、「第4学年で指導するものとする。」と示されている。
- D 中学校学習指導要領の「保健体育科」保健分野において、「妊娠や出産が可能となるような成熟が始まるという観点から、受精・妊娠・妊娠の経過までを取り扱うものとする。」と示されている。

	A	B	C	D
1	○	×	×	○
2	○	○	×	×
3	×	○	○	×
4	○	×	○	×
5	×	×	×	○

(4) 厚生労働省「感染症発生動向調査」(平成29年10月28日現在)及び公益財団法人日本学校保健会冊子「教職員のための指導の手引～UPDATE!エイズ・性感染症～」(平成30年3月発行)に記載されている内容について、空欄A～Fに当てはまる語句を、それぞれ1～5から一つ選べ。

空欄Aの解答番号は 、空欄Bの解答番号は 、
 空欄Cの解答番号は 、空欄Dの解答番号は 、
 空欄Eの解答番号は 、空欄Fの解答番号は

- 平成28年における、性器クラミジア感染症の年齢別(5歳階級)報告数において、15～19歳では、女性の報告数は男性の報告数の である。
- 平成28年における、梅毒の年齢別(5歳階級)報告数において最も多かったのは、女性では である。
- 平成28年における、梅毒の年齢別(5歳階級)報告数において最も多かったのは、男性では である。
- 梅毒の報告数(年次推移)をみると、平成28年の男女を合わせた総数は、その5年前の平成23年の男女を合わせた総数と比べて である。
- 妊娠中に梅毒に感染し、治療しないまま出産すると、生まれた子供に という全身の病気が見つかることがある。
- WHO(世界保健機関)は、 を世界エイズデーと定め、エイズに関する啓発活動などの実施を提唱している。

	A	B	C	D	E	F
1	約3倍	15～19歳	20～24歳	ほぼ同数	第Ⅰ期梅毒	6月1日
2	約6倍	20～24歳	25～29歳	約2～3倍	第Ⅱ期梅毒	6月7日
3	約9倍	25～29歳	30～34歳	約5～6倍	先天梅毒	9月12日
4	約12倍	30～34歳	35～39歳	約8～9倍	潜伏梅毒	12月1日
5	約15倍	35～39歳	40～44歳	約11～12倍	晩期顕在梅毒	12月9日

4 人体の仕組みとはたらき及び応急手当について、次の（１）～（５）の問いに答えよ。

（１）次の各文は、目の構造と主なはたらきについて述べた文である。空欄A～Eに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～5から選べ。解答番号は

- は、眼球の最も外側にある透明の膜で、眼球内に光を通し、屈折させる。 は、中央の の開閉を行い、眼球に入る光の量を調節する。
- 凸レンズ形の透明体の は、光を屈折させ、 上に像を結ばせる。 は、光の刺激を感じる視細胞が集中していて、入ってきた光はここに映し出され、視神経によって脳に情報が伝えられる。

	A	B	C	D	E
1	強膜	虹彩	瞳孔	硝子体	脈絡膜
2	角膜	虹彩	瞳孔	水晶体	網膜
3	角膜	毛様体	上眼瞼	水晶体	網膜
4	強膜	毛様体	上眼瞼	硝子体	脈絡膜
5	角膜	虹彩	瞳孔	硝子体	網膜

(2) 次の各文は、眼疾患について述べた文である。各文に当てはまる疾患名の正しい組合せはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

- A 目の周囲のただれ、かぶれ、かさつき、切れなどで、かゆみ、痛みを訴える。
- B まぶたの急性の細菌感染である。かゆみや赤み、痛み、中心に膿による白い点をもつ腫れがみられる。
- C まぶたの慢性肉芽腫性炎症である。炎症が治まっても、しこりが残ることが少なくない。
- D さかまつげのことである。異物感を訴えてよく目をこする。症状が強いつきは、手術が必要な場合がある。
- E 細菌性とウイルス性に大別される。充血、流涙、痛み、めやになどの症状も強く、発熱やのどの痛みを伴うこともある。

	A	B	C	D	E
1	眼瞼炎	霞粒腫	麦粒腫	内反症	結膜炎
2	結膜炎	霞粒腫	麦粒腫	内反症	眼瞼炎
3	眼瞼炎	麦粒腫	霞粒腫	内反症	結膜炎
4	結膜炎	霞粒腫	麦粒腫	ぶどう膜炎	眼瞼炎
5	眼瞼炎	麦粒腫	霞粒腫	ぶどう膜炎	結膜炎

(3) 応急手当について述べた各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- A サッカーボールによって眼球打撲を受けた場合、眼球の上下運動を必ず調べる必要がある。左右の眼球の位置がそろわない、物が二重に見えるなどの症状がみられるときは、眼窩底の骨折が疑われる。
- B 眼球打撲を受けた場合は、両眼を開眼した視力測定だけでなく、必ず受傷した患側だけの視力も測定する。
- C 頭部打撲の場合、1時間は保健室にとどめて観察を行う。経過観察の項目としては意識の状態はどうか、吐き気・嘔吐は現れないか、けいれんや四肢の運動障がいはいは現れないかについて注目する。
- D 頭蓋骨は、骨の堅く厚くて丈夫な部位もあるが、薄くて弱い部位もある。特に前頭部は弱くてひびが入りやすい。頭部打撲といっても一律に考えずに、どの部位に打撃を受けたか、常に注意が必要である。
- E 変形のない骨折の場合、患部の圧痛と介達痛検査で離れた骨部に痛みを感じるようならば骨折の疑いが濃厚である。

	A	B	C	D	E
1	×	○	×	○	○
2	○	×	○	○	○
3	×	×	○	×	×
4	○	○	○	×	○
5	○	×	×	○	×

(4) 睡眠と内分泌機能について述べた文のうち、空欄A～Eに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

脳の中の から分泌されるメラトニンは、睡眠作用があり、朝日を浴びると光の刺激によってメラトニンの分泌が され、夜間になって分泌量が と深部体温が して自然な眠気が出現する。成長ホルモンの分泌は、入眠直後の眠りが ときに急激に高まる。

	A	B	C	D	E
1	下垂体	抑制	減る	低下	深い
2	松果体	促進	減る	上昇	深い
3	下垂体	抑制	増える	上昇	浅い
4	下垂体	促進	減る	低下	浅い
5	松果体	抑制	増える	低下	深い

(5) 公益財団法人日本学校保健会冊子「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」(平成20年3月発行)、「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン要約版」(平成27年2月発行)に述べられている内容について、次のア～イの問いに答えよ。

ア 食物アレルギーの各病型の特徴について、空欄A～Dに当てはまる語句や数字をそれぞれ1～5から一つ選べ。

空欄Aの解答番号は 、空欄Bの解答番号は 、

空欄Cの解答番号は 、空欄Dの解答番号は

○ 児童生徒にみられる食物アレルギーは大きく3つの病型に分類される。

①

食物アレルギーの児童生徒のほとんどはこの病型に分類される。原因食物を食べて2時間以内に症状が出現し、その症状はじんましんのような軽い症状から、生命の危険も伴うアナフィラキシーショックに進行するものまでさまざまである。

② 口腔アレルギー症候群

果物や野菜、木の実類に対するアレルギーに多い病型で、食後 分以内に口腔内(口の中)の症状(のどのかゆみ、ヒリヒリするイガイガする、腫れぼったいなど)が出現する。多くは局所の症状だけで回復に向かうが、 %程度で全身的な症状に進むことがあるため注意が必要である。

③ アナフィラキシー

多くの場合、原因となる食物を摂取して2時間以内に一定量の運動(昼休みの遊び、体育や部活動など患者によってさまざま)をすることによりアナフィラキシー症状を起こす。

	A	B	C	D
1	遅延型	1	0.5	食物による
2	即時型	3	5	運動誘発
3	急性型	5	10	食物依存性運動誘発
4	慢性型	10	15	運動による
5	進行型	15	20	全身性の

イ 学校におけるアレルギー疾患の緊急時の対応について述べた各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- A 発見者（教職員）は、症状をきたした児童生徒の観察を近くにいる児童生徒たちに指示し、詳しい状況を伝えるため、自ら他の教職員を呼びに行く。
- B アドレナリン自己注射薬が処方されている児童生徒が、必要な状態になり、アドレナリン自己注射薬を使用した後は、安静にして、1時間は保健室にとどめて観察を行う。
- C 記録者は、観察の開始時間、アドレナリン自己注射薬を使用した時間、5分ごとの症状、内服薬を飲んだ時間を記録する。
- D 呼びかけに反応がなく、呼吸がなければ心肺蘇生を行い、AEDを使用する。

	A	B	C	D
1	×	○	○	○
2	○	○	×	×
3	×	×	○	○
4	×	○	×	○
5	○	×	○	×

5 心肺蘇生に関する内容について、次の（１）～（４）の問いに答えよ。

（１）主に市民を対象に行われる救急蘇生法の教育は、「救急蘇生法の指針（厚生労働省）」に準拠することが求められており、この指針は５年ごとに改訂される「JRC蘇生ガイドライン」に準拠している。

下の表は、「JRC蘇生ガイドライン2010」と「JRC蘇生ガイドライン2015」の成人の心肺蘇生に関する主な変更点の対応表である。

「JRC蘇生ガイドライン2015」では、「JRC蘇生ガイドライン2010」からどのような変更が行われたか、A～Dに当てはまる語句や数字を語群から選べ。

項目	JRC蘇生ガイドライン 2010	JRC蘇生ガイドライン 2015
○胸骨圧迫の深さ	少なくとも5cm沈むほど	(A)
○胸骨圧迫の速さ (テンポ)	少なくとも毎分100回の テンポで	毎分(B)回のテンポ
○胸骨圧迫の解除	胸がすっかり戻るまで	(C)が完全に元の位置に戻る ように、圧迫と圧迫の間に(C) に力がかからないようにする
○胸骨圧迫比率(※1)	記載なし	(D)%を超えるようにする

(※1) 胸骨圧迫比率：全CPR（心肺蘇生）時間に対する胸骨圧迫に費やす時間の比率。

(語群)		
・胸の厚さの約1/3の深さで	・約3cmの深さで	・約5cmの深さで
・約7cmの深さで	・約10cmの深さで	
・剣状突起	・横隔膜	・胸壁
・腹壁	・肋骨	
・50	・60	・70
・80	・90	・110
・120	・70～90	・100～120
・130～150		

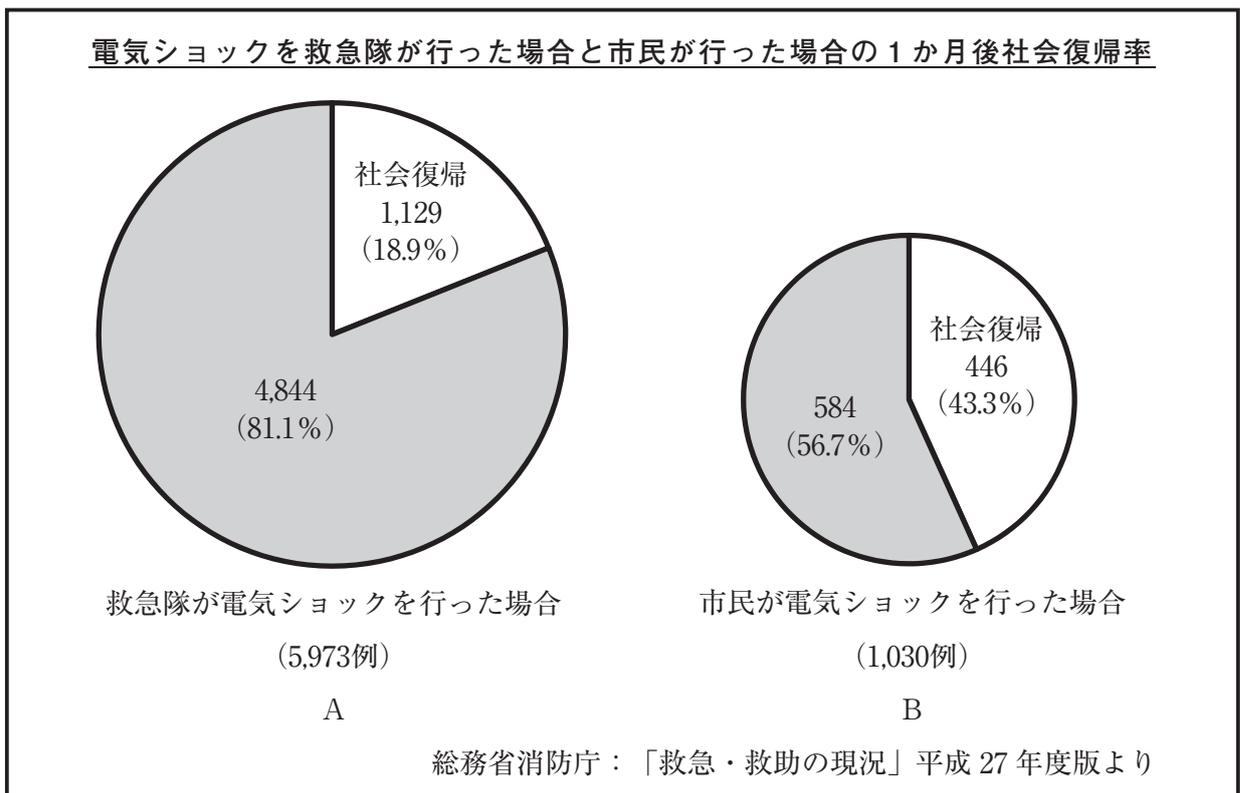
(2) 「JRC蘇生ガイドライン2015」には、「訓練を受けていない市民救助者は、胸骨圧迫のみのCPR（心肺蘇生）を行う」と記されている一方で、「小児（※2）の心停止において、救助者は人工呼吸と胸骨圧迫を行うことを推奨する」とも記されている。小児の心停止では、人工呼吸を組み合わせることが望ましいとされる理由を30字以内で述べよ。

(※2) 小児：出生後から思春期まで（目安としてはおよそ中学生までを含む）を広く小児という。

(3) 「死戦期呼吸」が起きているときの、呼吸の様子と身体の状態について、簡潔に説明せよ。

(4) 下のA・Bの円グラフは、電気ショックを救急隊が行った場合と市民が行った場合の1か月後社会復帰率（※3）を示したものである。

Aに比べてBの「1か月後社会復帰率」が高いのはなぜか、具体的な根拠を示しながらその理由を100字以内で述べよ。



(※3) 社会復帰率：全身機能カテゴリー（OPC：脳及び脳以外の状態を類別し、身体全体としての機能を評価する分類）及び脳機能カテゴリー（CPC：脳に関する機能を評価する分類）が共に1（機能良好）又は2（中程度障害）であったものの割合。

